

第2章 結果

第1節 「非行」の定義の変遷

本研究では、「非行」を、ある特定の行為に一義に付与される属性として捉えない。むしろ、若者の言動に対して社会がレッテルを貼ることにより、初めて手触り感のある実体をなすものと捉える。若者のどのような行為が「非行」とみなされるかは、極めて社会的、文化的、歴史的な文脈に影響を受けるのである。

このような視点を具体的に検証すべく、被調査者に対して、自分が若者であったときにどのような行為をなす者が「非行少年」、「不良」とみなされていたかについてインタビューした。それと同時に、現在、どのような行為をなす者を「非行少年」、「不良」とみなすかについても尋ねた。過去と現在の非行に対する認識の差異より、非行とカテゴライズされる行為が、固定的、静的なものではなく、社会文化的に構築されるものであることが言えよう。以下、インタビュー結果をもとに、第1項では、過去と現在における「非行」の定義の差異と、「非行」の定義の曖昧性についてまとめていく。第2項では、ファッション、飲酒などのより具体的な行為と非行の関係について取り上げる。

第1項 「非行」の定義の曖昧性

ここではまず、被調査者が若者であったときに、「非行少年」、「不良」とみなされていた者が、どのような行為をなしていたかについて言及している箇所を取り上げる。Scene.1-1～1-3 に示すように、そこには、現在の「非行少年」、「不良」のイメージとの差異が浮かび上がっているのが分かる。

[Scene.1-1] グループ 11 (R は調査者、S は被調査者の発話を示す：以下同)

S3：うちらん時、非行ってあったっけ？

S1：なかったんちゃう？

S3：不良少年はおったかもしれんな。

S1：不良はおったな？

S2：タバコ吸うたりとか、ようけおったよ？

S1：非行じゃないな？

S3：不良少年って、僕のイメージでは「一匹狼」っていう感じがする。一人でもやれる、一人でもいい。ついてきてもいいけど、自分からは追わない…。

(中略)

S2：僕もそういうイメージがある。不良は人に迷惑をかけないという。

S3：こういう風に考えてみると、こういうのは、時代が作る言葉かなっていう気がせんでもないな。昔は非行って言わなかったもん。

S2：昔は「非行」っていう言葉そのものがなかったからからな。

S1：タバコ吸おうが、酒飲もうが、「非行」って言わなかったもん。不良やなとは言われたけどな。

S2：言葉そのものがなかったな。

S2：言わなかった。言わなかった。非行って最近出てきた言葉やな。

[Scene.1-2] グループ 11

S2：(不良は) 昔は憧れの対象っていうか。番長みたいに弱いものをいじめはようせんだな。高校生どうして他の学校の子とケンカしたりはあったけど、弱いものいじめするイメージがないな。これは非行ではなく不良やな。今やってるのは弱いものをいじめる。寝てるものをやるとか、年寄りをやるとか。

S3：自分本位でやっとなることが多いな。

[Scene.1-3] グループ 3

R1：今と昔の不良って、やっぱり違いますか？

S2：昔は目立ちたがりやっていう感じ？昔はただ目立ちたくて悪ぶってた感じがあったね。そんな根っからの悪じゃなくて。

S4：今はグループとかでしょ？10 何人にかたまって、こうずるずると仲間に入っちゃうみたいなの。

R2：昔はグループとかではなかったんですか？

S2：やっぱりグループだったけど、リーダーとかいたけど、今とは違った気がする。

S3：昔はそういう不良って呼ばれてた子って、面倒みもよかったよね。

S5：昔の不良って、弱い子を助けてくれたりしたもんね。

S1：昔はね、髪の毛のぼしたらね、それだけで不良だからねえ。

R2：結構優しい感じだったんですか？

S2：そうね、面倒みがよくて、弱いものを助けるような。

S5：姉さん肌っていうか。

インタビュー結果にみられるように、被調査者が若者であった頃の不良像は、「昔の不良は一匹狼という感じ」、「人に迷惑をかけないと言うイメージ」、「弱いものを助けるイメージ」、「根っからのワルじゃなくて悪ぶってる」と、憧憬の対象、リーダー的な存在として語られている。対照的に、現在の非行については「自分本位」、「弱いものをいじめる」というイメージで語られる場合が多い。Scene.1-1 で被調査者の S3 も言及しているように、非行という概念は、その文化的背景、歴史的背景に影響を受けることが分かる。

また、被調査者は、現代は自分たちが若者であった頃に比べて、「不良」、「非行」の概念が曖昧になった、不良とそうでない子をはっきりと識別できなくなったと語ることが多い。以下の Scene.1-4～1-5 にあるように、以前の非行少年や不良は明示的であったようである。しかし現在は、「誰が何だかわからない」、「外見からは分からない」、「まじめそうな子がキレたりする」と、その不透明性から生じる結果に危惧を覚えていることが分かる。

〔Scene.1-4〕 グループ 1

S1：なんか、不良という概念が分からなくなってきたよね。昔は、一目見て不良は不良だったんだよ。誰がなんだかよくわからん！

S3：そんなに不思議にも思わなくなった。

〔Scene.1-5〕 グループ 2

S3：昔はね、見るからに、って言う人たちばかりだったから、ねえ。（具体的なイメージが）あったんですけど、なんかテレビとかねえ、いろいろそういう情報とかは。今は何かね、外見で、判断できないっていうかね、真面目そうな子ほど、ね、そういうのが、突然出たりするとかはあ

りますよね。

R：あー、なるほど

全員：そうよね。
